

# 鳥取県美術館整備基本構想の検討について

## 1 概 要

昨年度に引き続き、各市町村から推薦のあった建設候補地等について、立地条件について専門的識見を有し県内事情等に精通している鳥取県立美術館候補地評価等専門委員による専門的・客観的な視点から審議をしていただき、28年6月に、候補地のうち鳥取市役所庁舎敷地、鳥取砂丘西側一帯、倉吉市営ラグビー場、旧鳥取県運転免許試験場跡地が総合的に見て適性が高いものと評価され4箇所に絞り込まれた。

また、昨年度設置した「鳥取県美術館整備基本構想検討委員会」は、昨年度に引き続き平成29年2月にかけて8回開催され（設置後13回）、新たに整備する美術館の基本的な設置理念・目的、備えるべき機能、必要な施設と事業、建築費と運営費の目安、建設場所、運営方法などを検討され、平成28年11月に、建設場所の絞り込み以外について考え方を整理した「県立美術館整備基本構想中間報告」を取りまとめられた。そこに至る過程では鳥取県教育委員会としても、出前説明会や全市町村で開催した美術館キャラバン、更には県内3箇所で開催した県民フォーラム等で検討委員会の検討の内容や状況を県民に説明して意見を伺うとともに、その意見や県議会から逐次示された指摘等を、検討委員会の議論に極力反映していただくよう努力してきた。その上で同年10月に美術館の整備に関する県民意識調査を行ない、その結果、調査回答者の7割前後から、(どちらかといえば)美術館の整備は進めていくべきであり、これまで検討委員会で議論されてきた内容は(おおむね)適切であると認めていただけたことから、鳥取県教育委員会としても中間報告に基づき、県立美術館の建設場所の絞り込み以外の構想内容について、昨年11月に中間取りまとめを行った。

一方、県立美術館の建設場所については、同年6月に候補地が4ヶ所に絞り込まれていたが、県民の関心が非常に高く、その意向を踏まえて判断する必要があることから、平成29年1月には、候補地評価等専門委員の評価結果をベースに推薦市町の意見を反映し、県議会の意見も盛り込んだ候補地比較資料を添付した上で建設場所に関する県民意識調査を行った。検討委員会で、そうした結果も踏まえて総合的に検討された結果、過半数の委員が倉吉市営ラグビー場が建設場所として最適だと判断され、検討委員会からは、こうした事実を提示するなど、新しい美術館の基本的な方向性を明確に示した「鳥取県立美術館整備基本構想最終報告」を平成29年2月に提出していただいた。その内容は、県民や県議会の意見や議論もしっかり踏まえたものとなっていることから、鳥取県教育委員会の基本構想においては、最終報告の趣旨を最大限尊重することとしたが、検討委員会でも建設場所の絞り込みに当たっては、より多くの利用者を確保する視点や県博との連携を維持する視点から様々な意見があった。また、最終報告では建設場所以外に関しても、高齢者・障がい者や子どもたちに関する記述が修正されるとともに、県内の文化施設間のネットワークづくりや県東部の美術振興拠点機能の維持に関する記述も追加されている。

これら中間報告以降に新たに提示された課題等を踏まえ、鳥取県教育委員会としても、今後の人口減少社会、高齢社会や共生社会の中で美術館を持続的に発展させていくための対応や、未来を担う子どもたちの芸術への関心や創造性を高める視点での対応などについて十分議論し、平成29年3月に、その結果を盛り込んで、鳥取県立美術館の整備基本構想の執行機関としての最終取りまとめを行った上で、平井知事と県議会にその内容を報告した。

これを受け、平成29年2月定例県議会で、倉吉市営ラグビー場を建設場所とする基本計画及びPFI導入可能性調査等に県立美術館整備推進に要する予算案が附帯意見を付された上で可決された。

## 2 検討状況

- 平成28年4月12日 第2回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会  
・建設候補地の評価
- 4月18日 第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会  
・建設候補地の評価
- 4月25日 第6回基本構想検討委員会  
・鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要、PFI手法等
- 5月23日 第4回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会  
・評価に対する推薦市町からの意見、確認事項等
- 6月21日 第5回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会  
・建設候補地の絞り込み
- 6月27日 第7回基本構想検討委員会  
・建築費、運営費等の見直し、これまでの検討内容と特色づくり、建設候補地の評価等
- 8月30日 第8回基本構想検討委員会  
・特色づくり、建築費の見直し等
- 9月30日 第9回基本構想検討委員会  
・施設設備・建築費の見直し、美術館の整備検討に関する意識調査(案)、特色づくり
- 10月 美術館整備に関する県民意識調査を実施
- 11月4日 第10回基本構想検討委員会  
・基本構想の中間報告、建設候補地の評価資料
- 12月22日 第11回基本構想検討委員会  
・建設候補地の評価資料、意識調査案
- 平成29年1月 美術館の建設場所に関する県民意識調査を実施
- 2月10日 第12回基本構想検討委員会  
・建設場所に関する意識調査結果、建設候補地の絞り込み、基本構想の最終報告
- 2月16日 第13回基本構想検討委員会  
・基本構想の最終報告
- 3月3日 県教育委員会において建設場所(倉吉市営ラグビー場)を含む鳥取県美術館整備基本構想を決定

## 3 鳥取県美術館整備基本構想検討委員会委員等名簿

(1) 鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 (任期 平成27年7月17日～平成29年7月15日)

氏名	役職等
林 田 英 樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長
半 田 昌 之	日本博物館協会専務理事、元たばこと塩の博物館学芸部長
水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長、元県立博物館美術品収集評価委員
福 嶋 敬 恭	彫刻家、京都市立芸術大学名誉教授
小 泉 元 宏	立教大学社会学部准教授
森 口 まどか	美術評論家、宝塚大学造形芸術学部准教授
衣 笠 幸 雄	(株)TBSサービス社長、元TBS常務取締役

松本一夫	鳥取県公民館連合会理事、境港市渡公民館長
横山 薫	鳥取県PTA協議会副会長
北村 順子	鳥取市立宝木小学校校長
竹上 順子	米子商工会議所女性会理事、(株)インタープロス代表取締役
本城 美佐子	鳥取演劇鑑賞会事務局長
田村 閑美	鳥取女性中央会会長、倉吉異業種交流プラザ会長
谷本 里美	公募委員
来間 直樹	公募委員

※松本一夫委員は、平成27年7月17日～平成28年7月16日のみ就任

(2) 鳥取県立美術館候補地評価等専門委員

氏名	役職等
宇山 秀人	一般社団法人鳥取県バス協会専務理事
船越 克之	鳥取県ハイヤータクシー協会会長
佐分利 育代	鳥取県福祉のまちづくり推進協議会会長
川井 克一	鳥取県消費生活審議会会長代理
中島 守	公益社団法人鳥取県観光連盟会長
野田 邦弘	鳥取県文化芸術振興審議会会長
谷本 圭志	鳥取県都市計画審議会会長
前田 昭博	県政顧問(文化芸術関係)
里見 泰男	一般社団法人鳥取県建築士会副会長
牧野 光照	鳥取県財産評価審議会会長
香川 敬生	鳥取県地震防災調査研究委員会会長
前野 詩朗	鳥取県河川委員会会長
アドバイザー 林田 英樹	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会会長